

被害内容の報告

被害の大きかった箇所事例

箇所: ①



箇所:②



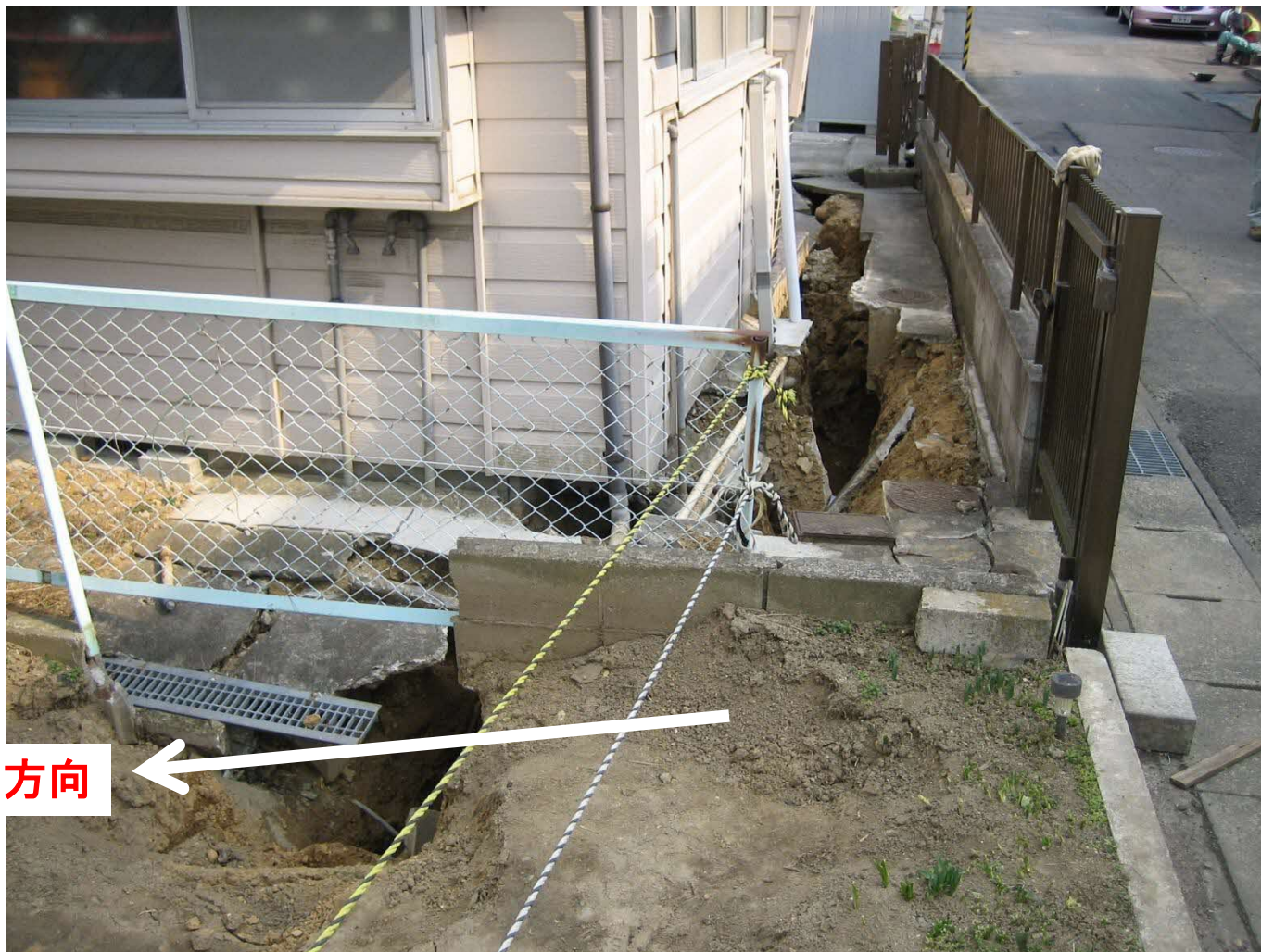
盛土した箇所と推測され全体的に滑動している

箇所:③



盛土箇所下端部の崩壊状況

箇所:④



盛土上端部被災状況
道路の部分は切土したものと推測される
この道路を境に被害の有無が分かれる

仙台市での判定結果

判定の結果(全体)

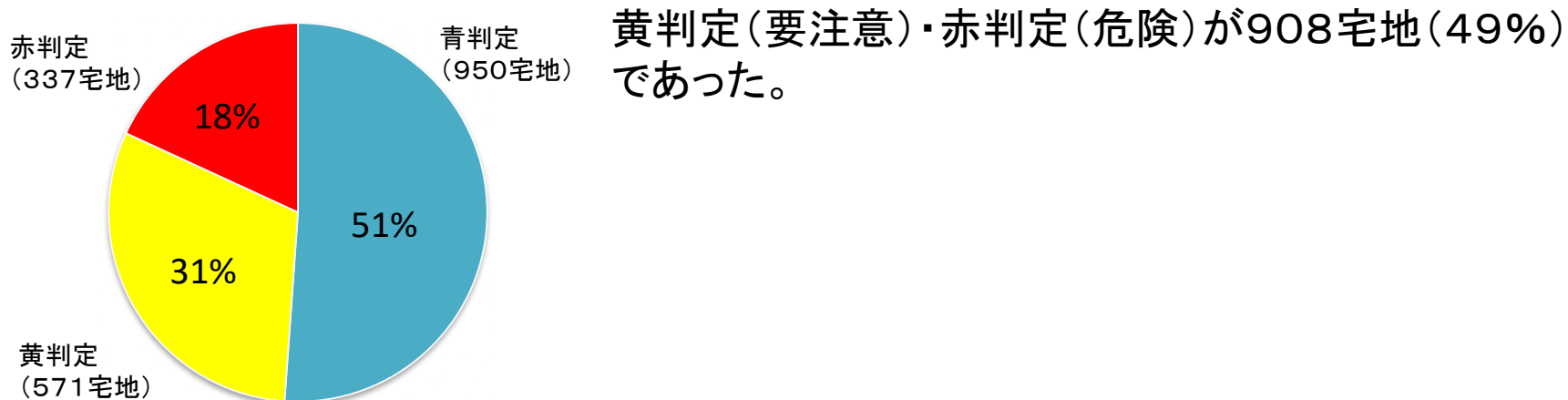
被災宅地危険度判定集計表(全体)

日付	人員		班数	箇所数	判定結果			備考
	判定士	補助員			青	黄	赤	
3月23日	39	4	15	79	21	46	12	
3月24日	40	5	16	114	52	36	26	
3月25日	42	5	17	126	54	47	25	
3月26日	57	5	22	133	69	45	19	
3月27日	54	3	20	145	67	46	32	
3月28日	51	3	18	128	67	34	27	
3月29日	64	4	22	156	87	43	26	
3月30日	62	5	22	190	84	56	50	
3月31日	62	3	21	212	130	57	25	
4月1日	59	5	21	194	122	42	30	
4月2日	60	6	22	204	110	57	37	
4月3日	48	6	18	177	87	62	28	
合計	638	54		1858	950	571	337	

他に、調査はしたが明らかに被害がないために調査書非作成箇所が152箇所

宅地内に立ち入れず判定不可箇所が3箇所

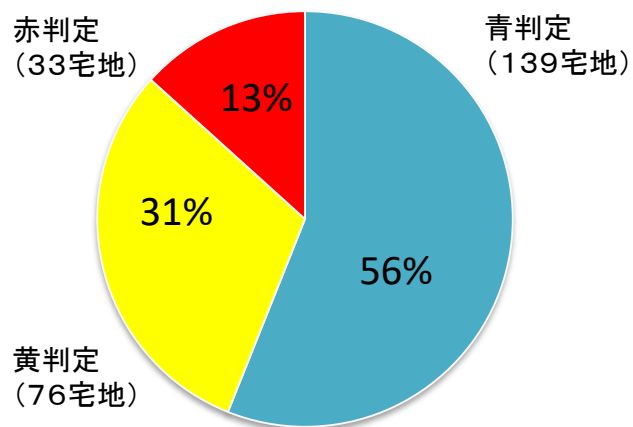
判定拒否箇所が1箇所



判定の結果(北海道担当分)

被災宅地危険度判定集計表(北海道担当分)

日付	人員		班数	箇所数	判定結果			備考
	判定士	補助員			青	黄	赤	
3月23日	6		2	8	2	4	2	第1陣(北海道)
3月24日	6		2	23	14	4	5	"
3月25日	6		2	28	21	6	1	"
3月26日	6		2	15	10	4	1	第2陣(北海道、札幌市、函館市)
3月27日	6		2	14	8	4	2	"
3月28日	6		2	20	7	8	5	"
3月29日	6		2	17	8	5	4	第3陣(北海道、札幌市、旭川市)
3月30日	6		2	24	6	11	7	"
3月31日	6		2	26	18	6	2	"
4月1日	5	1	2	21	17	4		第4陣(北海道、幕別町、長沼町)
4月2日	5	1	2	25	18	6	1	"
4月3日	5	1	2	27	10	14	3	"
合計	69	3		248	139	76	33	



仙台市内の宅地被害の状況(被害が集中している地区)



番号	地区名
①	太白区向山2丁目、松ヶ丘、緑ヶ丘3丁目、4丁目、青山2丁目、恵和町、大塙町、八木山南1丁目
②	青葉区滝道、貝ヶ森1丁目
③	青葉区小松島4丁目、旭ヶ丘2丁目、桜ヶ丘3丁目、双葉ヶ丘、北根1丁目、南光台6丁目、加茂3丁目、泉区東黒松、歩坂町

仙台市中心部を囲む丘陵地に被害が多い
 中心市街地に近いこれらの地区は、昭和30年から昭和60年頃にかけて造成された。

判定結果を基に
 3月28日 太白区の1宅地に避難勧告
 6月15日梅雨入前に青葉区、太白区、泉区の161世帯に避難勧告

震災被害箇所の応急対策工事の一例



工事着工前



工事完了

スライド1枚目の住宅です。

判定結果からの被害の特徴

- ・仙台市中心部を取り囲む丘陵地に昭和30年代から昭和60年にかけて造成された宅地の盛土部(斜面に合わせて階段状に造成された部分)に被害が多い。
- ・昭和53年の宮城県沖地震で被害を受けた箇所が今回の地震でまた被害を受けている(復旧工事行った箇所の再被災)。
- ・液状化現象も多数確認されている。

北海道においても起こりうる災害

北海道においては大規模盛土造成地の箇所は少ないですが、急峻な地形を有する市町村では、小規模ながら盛土造成を行い宅地としているところも存在していると思われます。

判定作業に係って感じたこと(個人談)

- ・昭和30年代から60年代にかけて造成された宅地で被害が多く、高齢者住宅が多い
- ・被災した方々は、自分の敷地の被災状況を知りたい(今後もこの場所で生活できるのかなど)ので、丁寧に説明する必要がある。